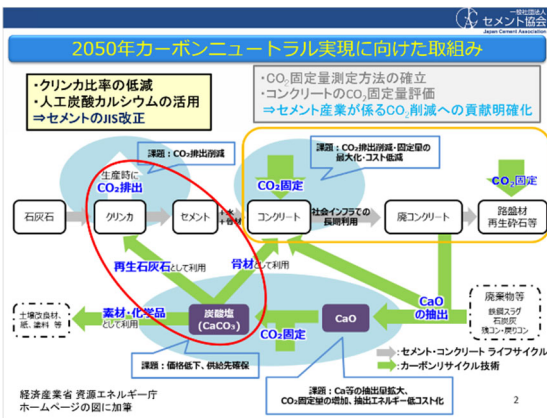


補足説明資料

【スライド 2】



セメント製造過程においては、さまざまな CO₂ 削減の取組みが進められています。また、2050 年カーボンニュートラル実現のカギを握るのが「カーボンリサイクル」技術であり、CO₂ を資源として活用するための研究開発が行われています。

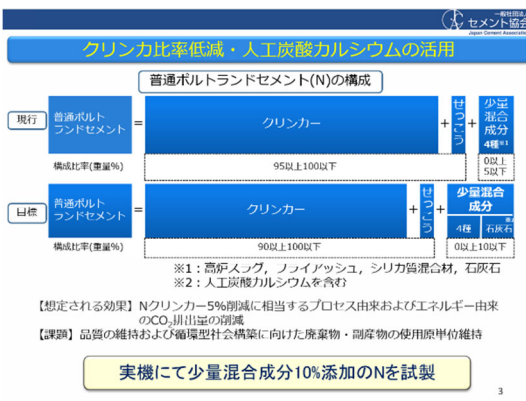
セメント・コンクリート分野において、資源も CO₂ も循環する究極の「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」が実践できれば、脱炭素社会実現に大きく貢献できます。

「カーボンリサイクル技術（コンクリート・セメント分野）の特徴」P7

URL :

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/green_innovation/energy_structure/pdf/006_03_00.pdf

【スライド 3】



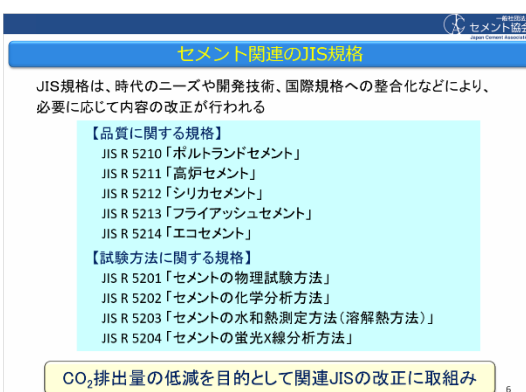
セメントはクリンカ、せつこう、混合材で構成されています。セメント製造工程で発生する二酸化炭素の殆どがこのクリンカ製造工程で発生（プロセス起源+熱エネルギー起源）することから、セメント産業にとって、クリンカ/セメント比を低減（少量混合成分を増量）することは二酸化炭素排出量削減に直結します。

「カーボンニュートラルを目指すセメント産業の長期ビジョン」

URL :

https://www.jcassoc.or.jp/cement/4pdf/220324_01.pdf

【スライド 6】

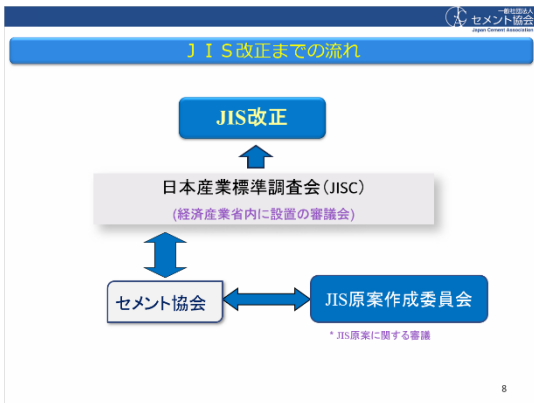


セメント協会はこれらの規格の「原案作成団体(者)」として、改正の申し出、原案作成委員会の運営、規格票原案の提出などの事務的な作業を行う一方、JISの改正・制定の内容に対する技術的な調査・検討・試験等を行っています。

セメント規格/セメントの規格類

URL :

https://www.jcassoc.or.jp/kenkyuujo/03_kikakurui/0301_cementkikaku.html



【スライド 8】

JISC は産業標準化法に基づいて、JIS の制定、改正等に関する審議を行っています。

産業標準化法では、民間団体等の利害関係人が産業標準原案（JIS 原案）を作成し、主務大臣に申し出ることができる旨定めています（法第 12 条等）。

日本産業標準調査会：産業標準化と JIS・産業標準原案（JIS 原案）の申出について

URL：<https://www.jisc.go.jp/jis-act/proposal.html>



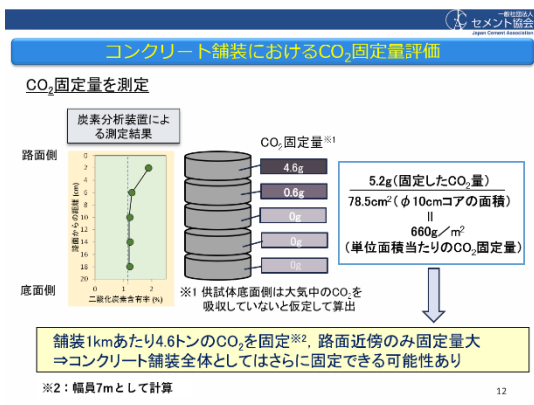
【スライド 11】 【スライド 12】

ポラスコンクリート舗装とは、特殊な混和材料を用いて空隙を有したポラスコンクリート版を使用し、これにより排水機能や透水機能、車輻騒音低減機能などを持たせた舗装です。

ポラスアスファルト舗装に比べて交通荷重による空隙つぶれやタイヤの旋回・据え切り作用による骨材飛散に対する抵抗性に優れています。

車道用ポラスコンクリート舗装設計施工技術資料

URL：https://www.icassoc.or.jp/cement/4pdf/jj3c_37.pdf



本調査は、セメント協会 舗装技術専門委員会によって行われ、報告書はセメント協会のホームページで公開しています。

R-36 車道用ポラスコンクリート試験舗装報告

—千葉県道 成田小見川鹿島港線・供用 21 年—

URL：https://icassoc.or.jp/cement/4pdf/jj3c_60.pdf

以上